The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	『大阪大学日本語日本文化教育センター 授業研究』第8号 刊行にあたって
Author(s)	
Citation	大阪大学日本語日本文化教育センター授業研究. 2010, 8
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21942
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

『大阪大学日本語日本文化教育センター　授業研究』

第８号 刊行にあたって

本センターは1954年に留学生別科として設立され、1991年に留学生日本語教育センターへと改組、そして、予備教育開始50周年と本学の国立大学法人化を契機として、2005年４月に教育と研究のいっそうの充実を目指し、日本語日本文化教育センターへと改称いたしました。

これまで、研究留学生、学部留学生、教員研修留学生、日本語・日本文化研修留学生などさまざまな留学生を多数受け入れ、その間、留学生の多様なニーズに応えられるよう教育カリキュラムの工夫・改善を重ねてまいりました。よりよいカリキュラムの開発には、日頃の教育の中から生み出されてきた方法論や教材論を共有し、蓄積することが肝要であると考え、本センターでは2003年３月に、専任教員、非常勤講師がともに自由に日頃の成果を発表できる場として本誌の創刊号を刊行いたしました。また、このほかに、教育の質の向上を目指して、さまざまなFD研修活動を行っています。

2007年度10月に大阪外国語大学が大阪大学と統合してから、二年が経過いたしました。それと直接の関わりがあるのか、それとも時代の流れなのか、今は分かりませんが、留学生に対する教育は、ますます多様化しつつある感があります。今年度の『授業研究』には五つの論稿が集まりましたが、その題目を一覧するだけでも、本センターで行われている教育の多様さを読み取っていただけるのではないかと思います。このような大きな変化に対応すべく、教育と研究のさらなる充実と発展を目指し、今後もいっそう研鑽を積んでまいりたいと存じますので、なにとぞご高覧賜りまして、ご批判、ご教示を頂戴できましたら幸甚に存じます。

2010年３月

『大阪大学日本語日本文化教育センター　授業研究』
編集委員会